

## つるぎ町へのアクセスマップ



## アクセス所要時間

### 東京から

- 航空機（一部JR・バス）利用  
東京（羽田）空港・JR貞光駅  
約2時間30分
- JR利用  
JR東京駅・JR貞光駅  
約5時間30分
- 高速バス（一部JR）利用  
東京品川・浜松町・JR貞光駅  
約10時間

### 名古屋から

- 高速バス（一部JR）利用  
名古屋名鉄バスセンター・JR貞光駅  
約6時間

### 京都から

- 高速バス（一部JR）利用  
京都駅高速バス乗り場・JR貞光駅  
約3時間30分

### 大阪から

- 高速バス（一部JR）利用  
各高速バス乗り場・JR貞光駅  
約3時間
- 高速バス利用  
阪急三番街高速バス乗り場・美馬IC  
約3時間
- JR利用  
JR新大阪駅・JR貞光駅  
約3時間
- マイカー利用  
約3時間

### 神戸から

- 高速バス（一部JR）利用  
各高速バス乗り場・JR貞光駅  
約2時間30分

### 岡山市から

- マイカー利用  
約2時間

## つるぎ町役場 商工観光課

〒779-4195 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字東浦1-3

TEL.0883-62-3111(代表) FAX.0883-55-1051

<http://www.town.tokushima-tsurugi.lg.jp>



つるぎ町

貞光の町をみ



## うだつの形態

### 1 本うだつ

両側の壁を高く上げ、その上に小屋根を乗せたもの（中世末期、江戸初期に発生しうだつ様式を継承するタイプ）

### 2 袖うだつ

厨子家、二階家の二階部分の正面両妻側につけられた袖壁に小屋根をかけたもので、うだつの名残と言われている。

「本うだつ」に対し全国に分布する。

### 3 袖壁

一部の地域では袖うだつと呼ぶ。埼玉県川越の蔵造りでは袖壁と呼ばれている。

### 4 煙出し

屋根に設けられた煙を抜く為の小屋根、これを「うだつ」と呼ぶ地域もある。

E

# 卯

A

う  
だ  
つ



## 貞光（さだみつ）

貞光は江戸中期以降の郷町で商業と交通の要衝として栄えてきた。昭和30年頃まで、山村の葉煙草の収納、繭・こんにゃくの収穫と引き替えに、農具・日用品・薬品などを購入する人々で賑いを見せていて、脇町とならんで二大商業地を形成していた。一字街道に沿う北町～南町への街路には商家が軒を並べ、「うだつ」がその繁栄を象徴している。

T

# 建

S

二層うだつの町並み

U

## 貞光のうだつ



単層葺き下ろし型

平屋建てから厨子造りに変化したときに造られたものでいちばん「本うだつ」に近い型で江戸時代後期から明治時代の中期までに建てられたものと推察される。



単層厨子切妻(寄棟)型

全国に分布するいちばん標準的なもので、徳島県内でも広く分布する。



単層二階切妻(寄棟)型

明治の後期から昭和の初期に建てられたものであって、袖うだつの背が高いのが特徴である。



二層厨子上下共切妻(寄棟)型

建築年代を推察しにくい型。



二層厨子上切妻下葺き下ろし型

下層部分が葺き下ろしで上層部が切妻。



二層二階上下共切妻(寄棟)型

単層厨子切妻(寄棟)型から変化したもので二階部分の軒高が高くなったために二層のうだつを設けたもの。

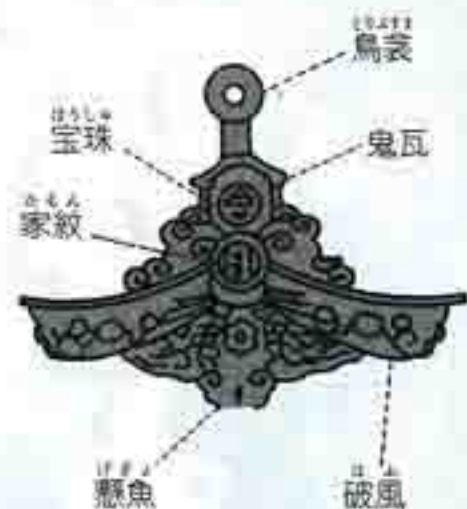
上記のように貞光のうだつは種類が多く、この上に彫刻が施されているものもあり多種多様である。京都では出桁造りが、貞光では厨子造りが町屋を形成し、火災などの教訓で改善された町屋の外壁は漆喰塗りの白壁の建物(塗家造)が増え、商家が軒を連ね当然のように、「うだつ」があがった。昭和の中期に

なり、道路事情がよくなり、集落から離れた地に道路がつくられるようになった。貞光も当然つくられたが、貞光川の土手を兼ねてつくられたために、新しい道路の沿線は発展せず、商家は昔のままの姿で昭和、平成の時代を生き抜いている。

## うだつの軒飾り



能の高砂に出てくる尉(老翁)と姥。夫婦和合・長寿祈願の象徴として崇(あが)められています。



棟瓦には蓬萊山や繊細な装飾が施されています。

うだつは、初期には防火、防風のために造られたが、時代とともに装飾化され、特にその屋根の先端は人目につきやすいところから様々な工夫が凝らされてきた。

最初は鳥袂(とりぶすま)や鬼瓦を乗せる程度だったが次第に破風(はふ)や懸魚(げぎょ)宝珠(ほうしゅ)家紋などが付け加えられるようになった。なお、鬼面でなくても同じ所であれば鬼瓦という。

## 鍔絵(漆喰細工)

漆喰を塗った上に鍔(こて)で風景や動植物などを描きだした絵。古来土蔵造りや大壁造りの装飾用として外壁にしばしば行われた。貞光のうだつには、家ごとに異なる美しい絵模様が施されており、美術建築としての風格も備えている。

棟瓦には蓬萊山や繊細な装飾が施されています。

## 鍔絵(漆喰細工)



① 龍(防火)



② イチョウ



③ 白虎(あうん)



④ 鯉の滝昇り(立身出世、防火)



⑤ 本家宇山(家号)



⑥ 松と鶴(魔除・縁起)



⑦ 亀(長寿、防火)



A line of 貞光町並み in Sadamitsu

虫籠窓



格子窓の一種。木製のものや、練り土に漆喰を塗り堅牢につくり、盗難除けや部屋の明りとり、風通しを良くする等の目的で造られた。一見、虫籠のように見えるところからこう呼ばれる。家々によって異なる意匠がある。

海鼠壁



土蔵・塗屋などの外壁に方形の平瓦を貼りその目地（めじ）を漆喰で蒲鉾（かまぼこ）形に盛り上げたもの。



ラ・フォーレつるぎ山